

第2回 沼津市中央公園再整備基本方針策定委員会委員会 開催報告

- 1 開催日時・場所 令和3年11月9日（水）15：00～17：30
 - （1）現地確認・・・中央公園
 - （2）意見交換・・・NUMAZU DESIGN CENTER
（大手町4-5-12 うるわしビル2F）
- 2 出席者
委員：今西委員、馬場委員、三谷委員
委託業者：株式会社 SOCI
沼津市：まちづくり政策課（都市計画係、まちづくり推進係）
緑地公園課

3 議事

- （1）現場確認（中央公園）
- （2）基本方針の“構成”について
- （3）基本方針に記載する“背景と目的”について
- （4）基本方針における“中央公園の位置付けと基本的考え方”について
- （5）再整備手法等について
- （6）意見交換

4 主な意見

①上位計画について

中央公園の再整備と各種計画との関係が記載されているところで、アクションプランの記載があるが、アクションプラン策定に携わった際に、中央公園は別のルートでの取組があるため、アクションプランには組み込まないとの説明を受けていたので、表記のとおり上位計画と記載しないままで、参考として表記する形が正しいと考える。

②近域について

あゆみ橋の橋脚の下や、川廓通りへ降りていく箇所も公園区域とのことであるが、そのエリアを放っておくと、（現在のトイレの裏と同じように）未活用のエリアとなってしまう。

あゆみ橋は、道路管理課が所管と管轄する部署が入り組んでいる公園であるので、公園整備を考える上で、違う課が入っていると調整が難しくなる。

この基本方針策定員会を機に、対象エリア内の管轄の整理が始めておくとよいと考える。

③中域の位置付けについて

近域、遠域については、上位計画の記載があるが、中域にはその記載がないので、入れた方が良い。

また、「中心市街地まちづくり戦略」に明記している車両交通動線や風のテラス、御成橋等も明記した方が良い。

④中心市街地まちづくり戦略との関係性について

・基本的な考え方として、まちづくり戦略に書ききれていないものもある。また、他の計画もうまく参照して基本方針を策定してほしい。例えば「沼津市都市計画マスタープラン」では、この中心市街地は“健康・文化・交流ゾーン”にあたっているなど、中心市街地まちづくり戦略以外にも、中央公園に関わる計画があるので、“基本的な考え方”の視野を広げていただきたい。

・中域の図に、旧国一南側のリノベーションまちづくりの取り組みも明記していただき、公共空間の活用にも触れていただきたい。

⑤狩野川護岸との関係

河川方向に抜けていく動線を明記したほうが良いか。螺旋階段については、今後、国との協議になっていくので、はっきりと明記はしにくいですが、この基本方針で何か提示しないとタイミングがないかもしれない。

⑥空間計画前に、動線、設備、地権者、管理者の現状を、構成の「第2章 中央公園の現状と課題」に、区域をしっかりと明示すべきと考える。

⑦旧東海道・川廓通りについて

舗装は綺麗に整備されているので、東海道側への顔として道路と河川の顔を作るべきと考える。

⑧公園と接する建物・隣地との関係

今、周辺のもものが、公園に対して全員背を向けてしまっている。

中央公園の再整備は、外部の人が来て賑わうことが、周辺の建物や土地の所有者にとって嬉しいことではないと行けない。再整備は、そのように進めるべきである。

⑨公園再整備の前提について

公園は、社会資本として緑地空間であることを忘れてはならない。活用に関しても大事だが、緑地空間であることはずっと変わらない。そのことを念頭に基本方針を定めるべき

⑩民活公募のタイミング

「設計が終わってから公募するのか」、「設計前に公募するのか(対話をしながら公募をする)」ので、大きく進め方が異なってくる。

収益性やマネジメントのしやすさなど、こういう準備やインフラがあると良いというのを設計段階に握っておくと民活が与件になってくる。公園の管理まで含めるとJV(ジョイントベンチャー)の形が変わるので、自ずと公募要項の内容とスケジュールが変わってくる。

どちらのスキームにするのか伺いたい。

⇒ヒアリングを実施してきた中で、現状の公園で、民活施設の設置について、大手が手を挙げるのは難しいと判断している。そのため、民活施設の設置の可能性としては、R3年度末または、R4年度はじめに、R4年度に実施する公園再整備を検討するWS参加者を公募し、そちらに参加していただいた方々が、公園での可能性に魅力を感じ、手を挙げていただけるかどうかと考えている。

⑪R4年度の動きについて

民活のスキームが決まっていない中でR4年は、WSをしながら、民活のスキームをどのようにしていくか整えていくと理解したが？

⇒R4年度の動きとしては、ご理解いただいているとおりです。

また、その中で、民活(施設の設置や活用方法)だけでなく、公園の維持管理の部分を事業者を広げていくかどうかということや、風のテラスとの接続や芝生のあるべき位置など、ゾーニングに係る部分も検討していければと考えている。

⑫再整備において、しっかりと対話型の合意形成をとることが大事

- ・現在提示されているスケジュールでは、R4年度は、「基本設計」となっているが、望ましいのは、R4年度は、「基本設計」ではなく、「基本計画」という位置付けの方が良いのではないかと？

- ・R4年は、事業者と手を合わせて計画していくイメージである。

- ・R5年に、基本設計と詳細設計を進めることは可能と考える。

- ・R4年は、基本構想や基本計画で良いと私も考える。その中でしっかりと維持管理のスキームを早めに整える必要がある。

- ・基本計画の期間を入れることにより、民間事業者も参入しやすい。その時にどのようなWSを行うのが重要。

- ・WSは、以下のように参加する層によっても分けた方が良い

- (1)受動的に使う活用者へのWS

- (2)公園での運営を考える事業者とのWS

⑬WS 公募の際に

- ・キックオフのためのこんな感じの公園というのは、図面でなく、ビジュアルとして見せて、固定的なイメージにしない方が良いと考える。具体的にコレとは言えないが、R4年度の最初にそのようなビジュアルプレゼンテーションをして、R4年度の最後に、今扱っているような計画（ゾーニング等）ができると良いのではないか。
- ・ビジュアルプレゼンテーションの中身としては市のポテンシャルはこうで、社会の流れはこうなっている、中央公園で目指すものはコレである、というようなもので民間事業者が公募に乗ってくるような形にすると良いのではないか？
具体的には模型や図面でなく、ダイアグラムだけでなく動画とか、現在の活動がよく伝わるもの。
- ・別業務で仙台のプロジェクトだが、創造の余地を残したイメージ図を使用している。
想像力の間がある、反応がもらえる絵であり、決まりすぎていないよという絵であることが重要である。
- ・R4年度のWSの最初に何を提示するか、様々な人を抱え込めるし、チームで大事にしたいことを明示できる。

⑭アンケートについて

アンケート実施予定のアンケート案について説明し、意見を求めた。

- ・アンケートは週末の沼津で手配布して取ることを想定している。
- ・紙媒体でのアンケートとともに、GoogleFormなどのWEBアンケートの実施も予定している。

これに対し、委員の方々より、以下のような意見があった。

- ・まずボリュームが大きいし、立って書き込んでいただくことを想定して形にするべき。
- ・回答を誘導するような形式は避けるべきであるし、
- ・このアンケートで何を聞きたいかをはっきりとさせて、作成した方が良い。
- ・公園の計画（ゾーニング等）については、時期尚早なので、聞かなくても良い。
- ・属性を聞くにしても、もっと見やすくして、ボリュームを抑え、10分以内で回答できるものとするべきである。